

府中市 地域公共交通計画 の基本的な方針等 に関する オープンハウス

パンフレット

この冊子では、なぜ地域公共交通計画が必要かをお伝えし、府中市の現状と問題点の紹介をしたうえで、計画の基本的な方針と目標の案をお伝えします。

目次 CONTENTS

地域公共交通
計画とは

p1

府中市の
公共交通の現状

p2

市中心部への
移動に関する
問題点

p3

地区内の
移動に関する
問題点

p4

地区間・市内
外の移動に関
する問題点

p5

公共交通の
利用環境に
関する問題点

p6

地域公共交通
計画の基本的な
方針(案)

p7

計画目標(案)

p8

計画目標
(案)

p9

計画目標
(案)

p10

今後の取組
など

p11



【発行年月】令和4年5月

【作成発行】府中市都市整備部計画課 交通企画担当



地域公共交通
計画とは

府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

地域公共交通 計画とは

このページで知ってほしいこと

公共交通の維持のために地域公共交通計画が必要であること
府中市における地域公共交通計画の検討経過

地域公共交通計画とは

「**地域にとって望ましい公共交通の姿を示す**」計画です。

なぜ計画を作るのか

地域公共交通を維持するため

- ・地域の暮らしと産業を支え、豊かで暮らしやすい地域づくりや、個性・活力のある地域の振興を図る上で「**移動**」は欠かせない存在です。
- ・一方で、近年の人口減少、バス運転手の不足、公共交通維持のための公的負担の増加、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者の減少等により、**民間事業者の企業努力のみでは、地域公共交通を維持することは容易ではなくなっています。**

行政、交通事業者、市民との間で目指すべき方向性を共有するため

- ・今後は、市民(地域)、行政、事業者がそれぞれの役割をもって、「公共交通の望ましい姿」に向けて連携し、**地域が自ら交通をデザインしていくことが必要**であり、そのためのマスタープランとなるのが地域公共交通計画です。

計画に記載する項目(主な項目)

- 1 地域公共交通サービスの持続的提供に向けた方針と目標
- 2 目標を達成するために誰が何をやるのか
- 3 計画の達成状況をどのように把握し、評価するのか

1の内容に関する検討が終了したことから、この冊子でご紹介します。

府中市における検討経過



府中市地域公共交通協議会

学識経験者や交通事業者等から組織される「府中市地域公共交通協議会」等を開催しながら、計画策定を進めています。



公共交通利用者アンケート

令和2～3年度に「市民アンケート」や「公共交通利用者アンケート」等の調査を行い、現状把握を行いました。

府中市の公共交通の現状

地域公共交通計画とは

府中市の公共交通の現状

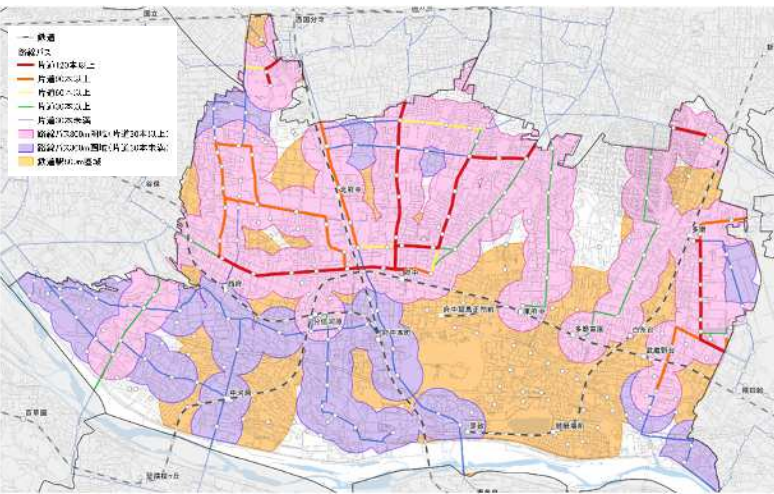
地域公共交通計画の基本的な方針(案)

計画目標(案)

このページで知ってほしいこと

府中市の公共交通の現状
望ましい公共交通の姿を明らかにするために
4つの視点から問題点を整理したこと

鉄道とバスが充実した公共交通ネットワーク



市内には14の鉄道駅があり、都心部へのアクセスに優れています。

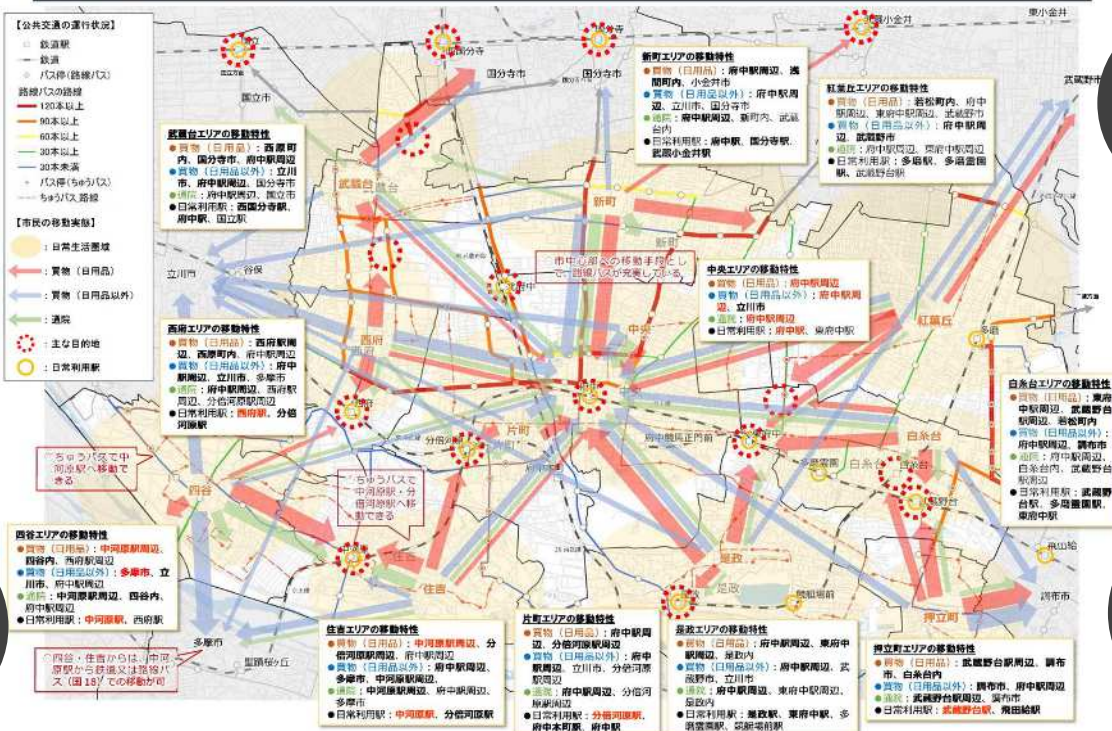
また、府中駅を中心に路線バスが充実しており、小金井市や国分寺市、国立市方面へのアクセスが充実しています。

さらに、鉄道や路線バスが利用しにくいエリアには「ちゅうバス」が運行しており、日常の移動を支えています。

市民アンケート等で得られた情報をもとに、市民の移動実態等を4つの視点で分析しました。

移動実態等から、公共交通の確保・維持等のために必要な方針・目標を定めるため、問題点を抽出しました。

公共交通の現状及び市民の移動実態図



市中心部への移動

地区間・市内外の移動

地区内の移動

公共交通の利用環境

問題点 市中心部 への移動に 関する問題点

地域公共交通
計画とは



府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

このページで知ってほしいこと

望ましい公共交通の姿を実現するために解決すべき
府中駅周辺等の市中心部への移動に関する問題点

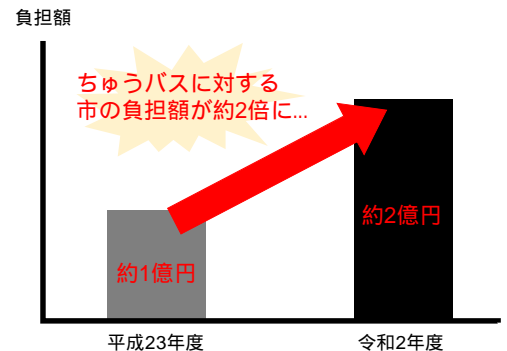
鉄道・路線バス・ちゅうバスの重複解消に向けた役割分担が必要

- ・市内には多くの交通サービスが展開されている一方で、一部、**鉄道・路線バスとちゅうバスの運行区間が重複**している箇所が見られる。
- ・路線バスとちゅうバスの**運賃体系が異なる**ため、路線バス利用者をちゅうバスが奪ってしまうなど、交通ネットワークとしての**持続性に課題**がある運行となっている。
- ・また、ちゅうバスのみ運行しているエリアと路線バスのみ運行しているエリアを比較すると、**サービス水準（運行間隔、中心部までの所要時間など）や運賃体系に差**が生じている。路線バスとちゅうバスという区別ではなく、市内各所から中心部への公共交通サービスとしてのサービス水準や運賃の設定の検討が必要である。

移動ニーズに合わせたちゅうバスの見直しが必要

- ・**ちゅうバスに対する市の負担額は、増加傾向**にあり、人件費・燃料代の高騰などにより今後も運行費用が高まることが予想されていることから、鉄道や路線バスとの役割分担を行い、ちゅうバス運行の効率化が必要である。
- ・府中駅周辺には多様な都市機能が集積しており、府中駅にアクセスすることで様々な用事を済ませることができる都市構造となっている。
- ・一方で、ちゅうバスにおいては、住宅地を細やかに運行していることから遠回りが生じ、**中心部への速達性が低下しているルートもみられる**。
- ・また、ちゅうバスは、府中駅発着を基本としているが、府中駅周辺を日常的に利用していない地域もあり、**移動ニーズとの乖離**が生じていることから、府中駅発着の必要性の検証も必要である。

ちゅうバスに対する市の負担が
増加しています



中心市街地内の回遊性を高めるための検討が必要

- ・府中市では、市全体の活力の向上を図るとともに、その核として魅力とにぎわいを創出する府中市の「顔」にふさわしい中心市街地を形成するため、「**府中市中心市街地活性化ビジョン**」を策定している。
- ・同ビジョン内で、中心市街地活性化に向けた課題として、「**回遊性の創出**」があげられていることから、**中心市街地内の移動の利便性向上**に向けた取組の検討が求められる。
- ・なお、府中本町駅では、ベビーカーのシェアリングサービスを導入しており、子育て世代にとっての利便性が向上している。

問題点 地区内の 移動に 関する問題点

地域公共交通
計画とは



府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

このページで知ってほしいこと

望ましい公共交通の姿を実現するために解決すべき
各駅周辺などの地区内の移動に関する問題点

日常生活圏内の公共交通の利便性が低い地域が存在

- ・日用品の買物や通院等については、日常生活圏内での移動が多く見られ、府中駅のほか、東府中駅・武蔵野台駅・西府駅・中河原駅・分倍河原駅などの鉄道駅周辺が生活の中心となっていることが多い。一方で、**日常生活圏内の買物先・通院先までの公共交通の利便性が低い地域が存在**している。
- ・鉄道駅までの現状の移動手段は「徒歩」「自転車」が大半を占めているが、今後、高齢化が進行することを踏まえ、**各地区から鉄道駅までの移動を支える交通サービスの検討**が必要である。

交通弱者の日常生活を支える交通サービスが必要

- ・市民の大半は、日常生活で徒歩や自転車による移動をしており、自由に移動することができるが、**交通弱者（高齢者、障害のある方等）は、近所のスーパーへの移動が困難**等の状況がある。
- ・このことから、交通弱者の買物や通院を支える交通サービスの検討が必要である。
- ・生活圏内の身近な移動を支える取組の一環として、乗合タクシー、デマンド交通、タクシー活用、電動車いすのシェアリングサービスなどがある（調布市では、令和2年度に電動車いすレンタルの実証実験を実施）。

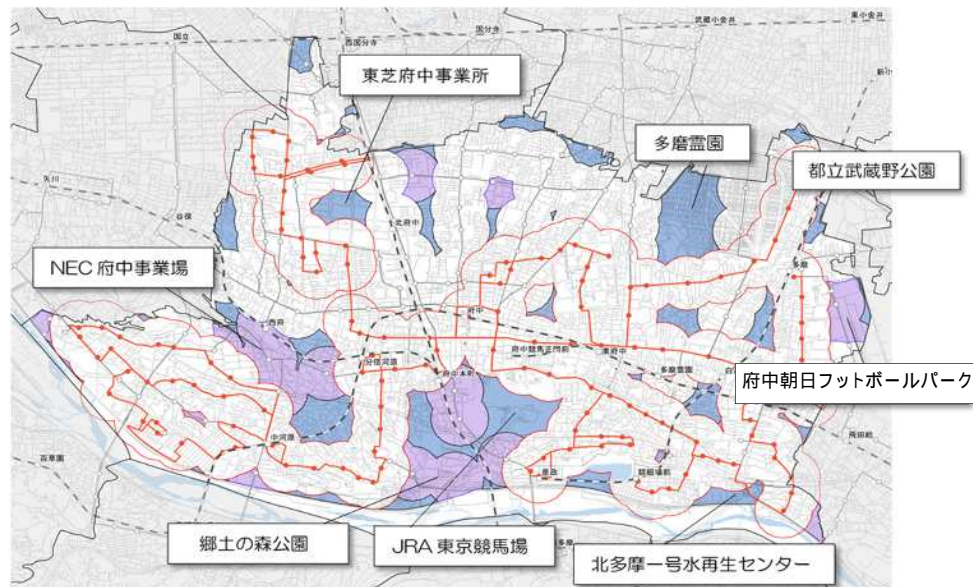
高齢者や子育て世代・障害者の方にとっては、近所の移動も難しい状況もみられます。

近所のスーパー等への移動が大変！



市縁辺部を中心に公共交通空白地域・不便地域が点在

- ・市縁辺部に公共交通空白地域・不便地域が点在しており、買物などで**自家用車の利用割合が高い**傾向にある。
- ・公共交通空白地域・不便地域の移動ニーズを見極めた上で、交通サービス提供の検討が必要である。





地域公共交通
計画とは

府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

問題点 地区間・ 市内外の移動 に関する問題点

このページで知ってほしいこと

望ましい公共交通の姿を実現するために解決すべき
地区間や市内外の移動に関する問題点

最寄り駅まで公共交通で便利に移動しにくい地域が存在

- ・市外への移動手段は、鉄道利用が主となっているが、自宅から最寄り駅まで、**路線バスやちゅうバスがアクセスしていない、運行本数が少ない地区も見られる**（多磨駅・多磨霊園駅・白糸台駅・西府駅・飛田給駅・谷保駅方面など）。
- ・鉄道駅までの現状の移動手段は「徒歩」「自転車」が大半を占めているが、今後、**高齢化が進行**することを踏まえ、各地区から最寄り駅までの移動を支える交通サービスの検討が必要である。

駅までの交通手段は「徒歩」「自転車」での移動が多い

	回答数	割合
徒歩	722	63.6%
自転車	264	23.2%
バイク・原付	7	0.6%
路線バス	72	6.3%
ちゅうバス	20	1.8%
鉄道	3	0.3%
タクシー	7	0.6%
自家用車(自分で運転)	8	0.7%
自家用車(家族・知人等による送迎)	0	0.0%
福祉有償運送(府中市社会福祉協議会)	4	0.4%

市民アンケート調査結果より

市縁辺部において、隣接市の商業施設までの交通サービスが不十分

- ・市の縁辺部では、買物のため隣接市へ移動している動きも見られるが、**隣接市まで移動するための交通サービスが不十分である地域が存在**している（押立町から調布市など）。
- ・調布市や三鷹市では地域公共交通計画の策定意向があることから、隣接市と調整しながら、府中市と隣接市間の公共交通の利便性向上を検討する必要がある。
- ・府中市周辺を運行している小金井市のコミュニティバス（CoCoバス貫井前原循環）、調布市のコミュニティバス（ミニバス西路線ルート）や国分寺市のコミュニティバス（ぶんバス万葉・けやきルート及び日吉町ルート）の活用など、**市域を越えた交通サービスについて検討**を行う必要がある。

広範囲から利用が見込まれる施設が市中心部以外にも立地

- ・市内には、**市内外含めて広範囲からの利用が見込まれる施設（多摩総合医療センター、生涯学習センターなど）が府中駅周辺以外にも点在**しており、市内各所からそれら施設への移動ニーズが一定程度見られる。
- ・多摩総合医療センターは、市内各所（新町・西府・中央・住吉エリア）から一定程度の利用がある。
- ・多摩総合医療センター 府中駅間は、高頻度で路線バスが運行しているが、その他の地区から多摩総合医療センターへのアクセス性は高くない状況である。
- ・ちゅうバス多磨町ルートでは、生涯学習センターでの乗降が多く見られていることから、一定程度の移動ニーズがあることが考えられる。
- ・ただし、上記の移動ニーズはまとまった大きな需要ではないため、対応する交通サービスを導入する場合、**事業性の確保に留意**する必要があると考えられる。

問題点 公共交通の 利用環境に 関する問題点

地域公共交通
計画とは



府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

このページで知ってほしいこと

望ましい公共交通の姿を実現するために解決すべきバス待ち環境などの公共交通の利用環境に関する問題点

鉄道駅のバリアフリーやバスの待合環境などの改善が必要

- ・令和3年末段階でホームドアが整備された鉄道駅が市内にないことから、利用者のさらなる安全で安心な利用環境の整備を推進することが求められる。
- ・市内のバス停の一部では、バス利用者が快適に待てる環境が不足している状況が見られる。

市内の公共交通に関する情報が分散

- ・市内には鉄道（JR東日本、京王電鉄、西武鉄道）、路線バス（京王バス、小田急バス）、ちゅうバス（府中市）、タクシー、シェアサイクルなど公共交通が充実しているが、それぞれの時刻表や運行ルート等は、各社HP等に掲載されている状況にある。

利便性向上に向けたデジタル技術活用の検討が必要

- ・全国的に公共交通分野においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）が進み、それらを活用し、公共交通の利便性を高める取組が進められている。
- ・本市の公共交通においても、オープンデータ化、MaaS（マース）や自動運転など新たな技術を活用した方策を調査研究しながら、公共交通の利便性の改善を図る必要がある。

脱炭素社会の実現に向けた取組の検討が必要

- ・府中市では、令和3年11月に「ゼロカーボンシティ表明」をし、脱炭素社会の実現に向けて取組を推進する機運が高まっている。
- ・市の縁辺部では自家用車の利用率が高くなっている。
- ・バスは、一度に多くの人を輸送できるとともに、比較的CO2排出が少ない交通手段であるため、公共交通サービスの維持・改善やモビリティ・マネジメントの実施などにより、過度な自家用車依存から公共交通利用へと転換を図る必要がある。
- ・電動自動車の導入についても検討し、バス車両から生じるCO2削減を図ることが求められている。なお、電動自動車にあたっては、充電スポットの確保に向けた検討が必要である。

自転車の利用環境の改善に向けた取組の検討が必要

- ・市民の約半数が日用品の買物において「自転車」を利用していることから、府中市内の主な交通手段の一つとなっている。
- ・府中駅周辺には、自転車駐車が十分に整備されているが、利用者からは使い勝手の悪さについての指摘が多い。
- ・市民アンケート調査において、回答者の約2割が「自転車の走行環境が悪い」と回答している。
- ・都内で発生した交通事故で自転車に関与している割合が年々増加しており、安全な利用環境の実現に向けた検討が必要である。

地域公共交通計画の基本的な方針(案)

地域公共交通計画とは

府中市の公共交通の現状



地域公共交通計画の基本的な方針(案)

計画目標(案)

このページで知ってほしいこと

総合計画などで定めた府中市が目指す姿を踏まえて、府中市の地域公共交通のあるべき姿に関する基本的な方針の案を検討したこと

府中市が目指す姿（上位計画）

総合計画

都市像

きずなを紡ぎ 未来を拓く 心ゆたかに暮らせるまち 府中

基本目標

- 人と人が支え合い 誰もが幸せを感じるまち（保健・福祉）
- 緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境）
- 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）
- **魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）**

マスタープラン
都市計画

都市像

きずなを紡ぎ 未来を拓く 心ゆたかに暮らせるまち 府中

基本目標

- **誰もが快適に移動できるまちづくり ほか**
公共交通ネットワークの維持・充実 ほか

計画が目指すべき将来像とその中で公共交通が目指すべき役割を明確化し、取組の方向性を決めました。

地域公共交通計画の基本的な方針(案)

方針 誰もが自由に移動ができる

交通弱者の移動の確保
若者や子育て世代も移動しやすい交通環境
来訪者も円滑に移動できる交通環境



方針 まちづくりとの連携

福祉や観光などの他分野と連動した公共交通
まちの変化や新たな拠点と連動した公共交通



方針 持続可能な地域公共交通

公共交通に対する財政負担の適正化
市民、交通事業者等と共につくる公共交通
脱炭素型社会の実現に寄与する公共交通





地域公共交通
計画とは

府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

計画目標(案)

このページで知ってほしいこと

基本的な方針(案)を踏まえて問題点を解決するため
6つの計画目標(案)を定めたこと

上位・関連計画

- ・第7次府中市総合計画
- ・府中市都市計画に関する基本的な方針 など

基本的な方針(キーワード)

誰もが自由に移動ができる
まちづくりとの連携
持続可能な地域公共交通

公共交通の問題・課題

市中心部への移動

鉄道・路線バス・ちゅうバスの重複解消に向けた役割分担が必要

移動ニーズに合わせたちゅうバスの見直しが必要

中心市街地内の回遊性を高めるための検討が必要

地区内の移動

日常生活圏内の公共交通の利便性が低い地域が存在

交通弱者の日常生活を支える交通サービスが必要

市縁辺部を中心に公共交通空白地域・不便地域が点在

地区間・市内外の移動

最寄り駅まで公共交通で便利に移動しにくい地域が存在

市縁辺部において、隣接市の商業施設までの交通サービスが不十分

広範囲から利用が見込まれる施設が市中心部以外にも立地

公共交通の利用環境

鉄道駅のバリアフリーやバスの待合環境などの改善が必要

市内の公共交通に関する情報が分散

利便性向上に向けたデジタル技術活用への検討が必要

脱炭素社会の実現に向けた取組の検討が必要

自転車の利用環境の改善に向けた取組の検討が必要

計画目標(案)

市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する 方針

鉄道・路線バス・コミュニティバス等の連携・役割分担により市中心部への移動を確保する。
中心部での移動しやすさ、回遊性の向上を図る。

日常生活圏域内における生活・移動をより便利にする 方針

日常生活を支える圏域内の移動手段の充実に向け、身近な生活の利便性の向上、地区内の交流・経済活動の促進を図る。
公共交通空白・不便エリアにおける最適な移動手段を検討する。

地区間や市外への移動の利便性を維持向上する 方針

鉄道駅を中心とした鉄道・バス等の交通ネットワークと交通結節点での各モード間の連携・接続を図る。
隣接市との連携による市外への買物等の利便性向上を図る。
市内の主要拠点へのアクセス性向上を図る。

年齢やライフステージ・身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする 方針

あらゆる市民へ最適な交通サービスを提供する。
まちづくりや福祉分野との連携を図る。

誰もが安心・快適に移動できるようにする 方針

鉄道駅におけるホームドア整備などバリアフリー化を推進する。
安全・安心で分かりやすく快適な待合環境を提供する。
デジタル技術の活用により、公共交通サービスの利便性の向上を図る。

交通サービスを将来に渡り提供できるようにする 方針

財政負担とサービス充実の両立を図る。
厳しい経営状況(コロナ、乗務員不足含む)に置かれている地域公共交通の中長期的なサービス維持を図る。
脱炭素社会の実現に寄与する公共交通サービスの展開、市民の意識啓発を図る。



地域公共交通
計画とは

府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

計画目標(案)

このページで知ってほしいこと

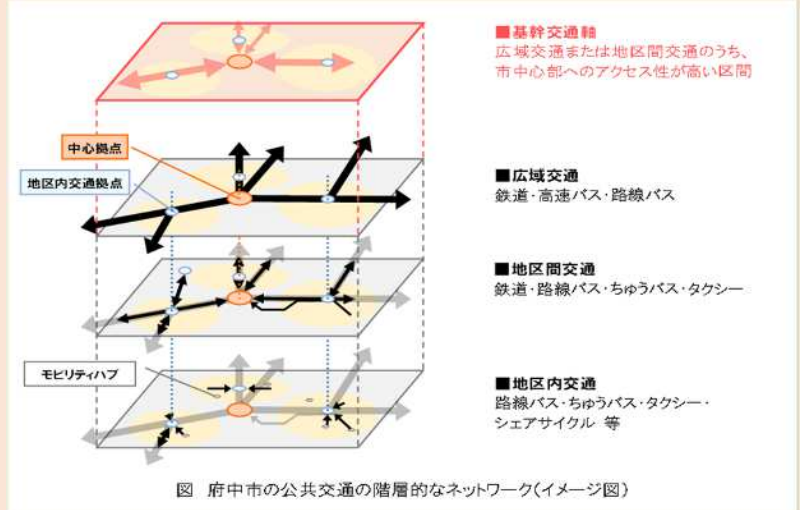
市内公共交通ネットワークの基本的な考え方
6つの計画目標(案)の ~

課題・計画目標を踏まえて整理

市内公共交通ネットワークの 基本的な考え方

鉄道駅を中心とした利便性の高い 交通ネットワークの維持・改善

今後も交通ネットワークを維持し、需要に応じて改善することで、市民生活を支える公共交通ネットワークの実現を図る



市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する

- 鉄道・路線バス・コミュニティバス等の連携・役割分担により中心部への移動を確保します。
- 中心部での移動しやすさ、回遊性の向上を図ります。

中心部まで便利に移動できる



市中心部

日常生活圏域内における生活・移動をより便利にする

- 日常生活を支える圏域内の移動手段の充実に向け、身近な生活の利便性の向上、地区内の交流・経済活動の促進を図ります。
- 公共交通空白・不便エリアにおける最適な移動手段を検討します。

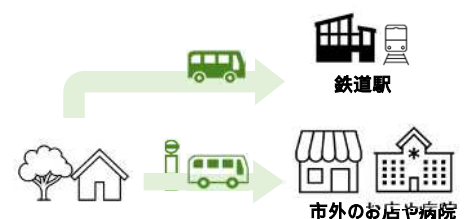
近所の買物や通院がより便利に



地区間や市外への移動の利便性を維持向上する

- 鉄道駅を中心とした鉄道・バス等の交通ネットワークと交通結節点での各モード間の連携・接続を図ります。
- 隣接市との連携による市外への買物等の利便性向上を図ります。
- 市内の主要拠点へのアクセス性向上を図ります。

鉄道駅や市外の店舗へ移動しやすく





地域公共交通
計画とは

府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

計画目標(案)

～

このページで知ってほしいこと

6つの計画目標(案)の～

年齢やライフステージ・身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする

- あらゆる市民へ最適な交通サービスを提供します。
- まちづくりや福祉分野との連携を図ります。

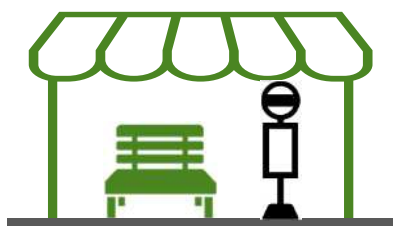
高齢者、子育て世代、障害者も移動しやすい交通サービス



誰もが安心・快適に移動できるようにする

- 鉄道駅におけるホームドア整備などバリアフリー化を推進します。
- 安全・安心で分かりやすく快適な待合環境を提供します。
- デジタル技術の活用により、公共交通サービスの利便性の向上を図ります。

快適な待合環境



運行内容を
ラクラク検索



交通サービスを将来に渡り提供できるようにする

- 財政負担とサービス充実の両立を図ります。
- 厳しい経営状況(コロナ、乗務員不足含む)に置かれている地域公共交通の中長期的なサービス維持を図ります。
- 脱炭素社会の実現に寄与する公共交通サービスの展開、市民の意識啓発を図ります。



地域公共交通
計画とは

府中市の
公共交通の現状

地域公共交通計画の
基本的な方針(案)

計画目標(案)

今後の取組 など

このページで知ってほしいこと

地域公共交通計画の策定スケジュール 地域公共交通の将来像

今後のスケジュール(予定)

本イベントでいただいたご意見等を踏まえて、計画目標(案)及び基本的な方針(案)の見直しを行います。

今後は「目標を達成するために誰が何をやるのか」「計画の達成状況をどのように把握し、評価するのか」(施策事業・評価指標)の検討を行います。



地域公共交通の将来像イメージ

「東京における地域公共交通の基本方針」より(詳細は東京都ホームページをご覧ください)

